

2026年1月30日
南海電気鉄道株式会社

TNFD 提言に基づく情報を初開示

南海電気鉄道株式会社（社長：岡嶋 信行）は、2024年6月にTNFD(注1)フォーラムに参画し、2025年9月にTNFD 提言に基づく情報開示を行うことを宣言してTNFD Adopter(注2)として登録しています。このたび、TNFD 提言に沿った当社初の「TNFD レポート」を2026年1月30日付で開示しましたので、お知らせします。



当社グループは、「持続的な企業価値の向上」と「持続可能な社会の実現」の両立を目指し、7つのサステナブル重要テーマ（マテリアリティ）に基づいたサステナブル経営を推進しています。中でも「地球環境保全への貢献」は重点テーマの一つであり、「南海グループ環境ビジョン2030」のもと、自然と共生する事業運営を進めてまいりました。

本レポートでは、TNFD の開示 提言である4つの柱（ガバナンス、戦略、リスクとインパクトの管理、測定指標とターゲット）に沿って、事業における自然関連の依存・影響、リスクと機会を整理し、開示しています。また、TNFD の LEAP アプローチ(注3)を用いて、運輸業および不動産業（商業施設賃貸事業を含む）を対象として、バリューチェーン全体を分析しました。

今後も、TNFD 提言に基づく開示の充実を図るとともに、地球環境保全に資する取組みを継続することで、自然との共生と企業価値向上の両立を目指してまいります。

開示内容の詳細については、当社ホームページに掲載する「TNFD レポート」をご覧ください。

(<https://www.nankai.co.jp/lib/company/sustainability/materiality/06environment/tnfd/pdf/tnfd260130.pdf>)

【関連情報】当社のサステナビリティ ⇒ <https://www.nankai.co.jp/sustainability>

(注1) Taskforce on Nature-related Financial Disclosures（自然関連財務情報開示タスクフォース）の略称。企業・金融機関が自然（陸、海洋、淡水、大気）に関連するリスクと機会を把握・評価し、情報開示するための枠組みを提供する国際的な組織です。

(注2) TNFD 提言に沿った情報開示を行う旨を表明し、開示会計年度を予告してTNFDに登録した企業・組織を指します。

(注3) Locate（発見）、Evaluate（診断）、Assess（評価）、Prepare（準備）の4ステップの分析から構成され、自然との接点・依存関係・インパクト・リスク・機会など、自然関連課題を評価・管理するための統合的アプローチです。

以上